

- 当社は2024年10月に東京証券取引所プライム市場へ株式上場し、2025年3月31日時点のPBRは1.47倍、PERは19.6倍
- ROEは、新型コロナウイルス感染症の拡大により一時低迷したもの、2025年3月期は7.8%
- 株主資本コストは、5~6%と認識※しており、現状ROEはそれを上回っているものの、利益成長や株主還元によりさらなる向上が期待されていると認識

※株式益利回りによる推計と同業他社の開示情報を参照

## PBR

**1.47倍**

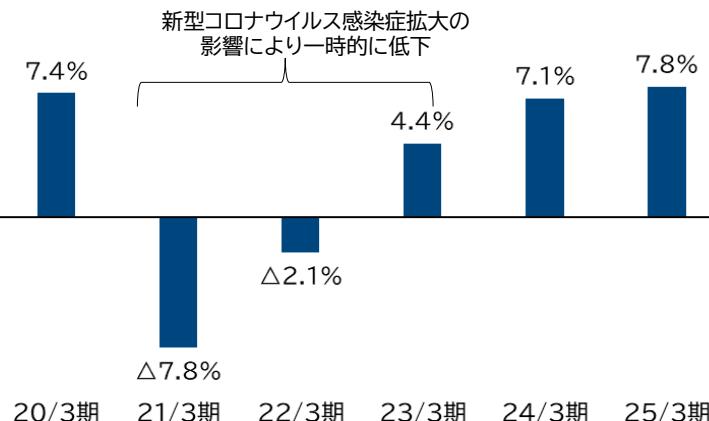
(2025年3月31日時点)

## PER

**19.6倍**

(2025年3月31日時点)

## ROE

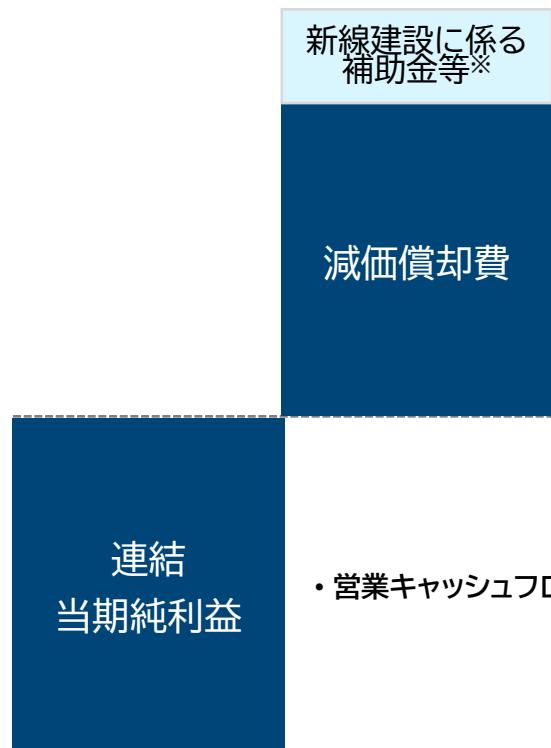


# 取組みの方向性 – 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

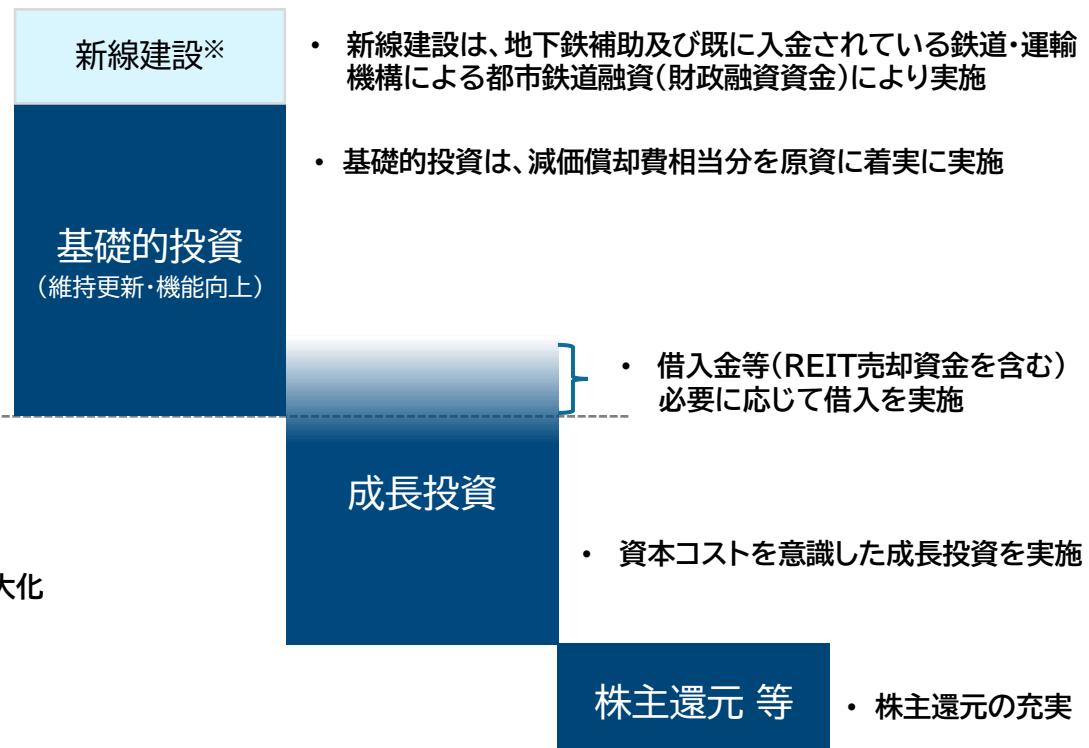
目指す姿	取組み	特に重視する指標	※下線の指標は中計で目標値を設定
利益成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸業 人口増、都心再開発の進展、インバウンドを踏まえた需要喚起策とコスト適正化による利益成長</li> <li>・不動産事業、ライフ・ビジネスサービス事業 運輸業とのシナジーを意識した不動産事業を中心に、規律をもった成長投資による利益創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>営業利益</u></li> <li>・ <u>EBITDA</u></li> </ul>	<p style="text-align: center;">ROA向上</p>
資産効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資の適正化 鉄道の維持更新をはじめとした安全・サービス向上投資はその減価償却費相当分を充当し着実に実施しつつ、その他の投資については資本コストを踏まえつつ設備投資を適正化</li> <li>・アセットライト 私募REITの活用によるアセットライト化の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>設備投資額</u> (維持更新・機能向上)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">ROE向上</p>
最適な 資本構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レバレッジ 事業を安定して行うための水準として、純有利子負債/EBITDA倍率6.3倍を重視しつつ、成長投資については資本コストも意識しつつ債務増も許容</li> <li>・株主還元の充実 連結配当性向40%以上を目指す方針のもと、利益の成長とともに増配を目指すことを基本に普通配当を行い、中期経営計画期間中はDOE3.4%程度を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>純有利子負債/EBITDA倍率</u></li> <li>・ <u>連結配当性向</u></li> <li>・ <u>DOE</u></li> </ul>	<p style="text-align: center;">財務レバレッジ</p>
株主資本 コスト低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESG経営の推進</li> <li>・コーポレートガバナンスの強化</li> <li>・株主との積極的な対話とIR活動推進</li> <li>・収益力の向上及び成長戦略の開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>マテリアリティに基づくKPI</u></li> </ul>	<p style="text-align: center;">PER向上</p>
期待成長率 の向上			

- 維持更新をはじめとした安全・サービスの質的向上のための設備投資は、減価償却費相当分を原資に着実に実施する。
- 資本コストを意識した成長投資として、まちづくり・鉄道成長にも寄与する不動産開発、人手不足社会に対応したオペレーション効率化に寄与する新技術の開発・推進等を推進する。また、スタートアップとの共創、事業提携や出資など新たなビジネスに取り組んでいく。

## キャッシュイン



## キャッシュアウト



※ 鉄道・運輸機構による都市鉄道融資(財政融資金)を含む